

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公表番号】特表2005-528089(P2005-528089A)

【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2003-564091(P2003-564091)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 0 1 K 67/027 (2006.01)
A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
A 6 1 K 48/00 (2006.01)
A 6 1 P 9/10 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)
C 0 7 K 14/705 (2006.01)
C 0 7 K 16/28 (2006.01)
C 0 7 K 19/00 (2006.01)
C 1 2 N 1/15 (2006.01)
C 1 2 N 1/19 (2006.01)
C 1 2 N 1/21 (2006.01)
C 1 2 P 21/02 (2006.01)
C 1 2 Q 1/68 (2006.01)
G 0 1 N 33/15 (2006.01)
G 0 1 N 33/50 (2006.01)
G 0 1 N 33/53 (2006.01)
C 1 2 N 5/10 (2006.01)
A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
A 0 1 K 67/027
A 6 1 K 31/7088
A 6 1 K 48/00
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 43/00 1 1 1
C 0 7 K 14/705
C 0 7 K 16/28
C 0 7 K 19/00
C 1 2 N 1/15
C 1 2 N 1/19
C 1 2 N 1/21
C 1 2 P 21/02 C
C 1 2 Q 1/68 A
G 0 1 N 33/15 Z
G 0 1 N 33/50 Z
G 0 1 N 33/53 D
C 1 2 N 5/00 A
A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月25日(2006.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子中の多型を検出する工程を含み、該遺伝子中の多型の存在が、末梢動脈閉塞疾患に対する感受性を示す、個体における末梢動脈閉塞疾患に対する感受性の診断方法。

【請求項2】

対照サンプル中のプロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子によりコードされるポリペプチドの発現または組成と比較して、試験サンプル中のプロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子によりコードされるポリペプチドの発現または組成における変化を検出する工程を含み、試験サンプル中のポリペプチドの発現または組成における変化の存在が末梢動脈閉塞疾患に対する感受性を示す、末梢動脈閉塞疾患に対する感受性の診断方法。

【請求項3】

プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子によりコードされるポリペプチドの発現または組成における変化が、対照サンプル中で発現されるイソ型とは異なる試験サンプル中のイソ型の発現を含む請求項2記載の方法。

【請求項4】

プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子のアンチセンス核酸；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子ポリペプチド；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子レセプター；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子結合剤；ペプチド模倣物；融合タンパク質；そのプロドラッグ；抗体；およびリボザイムからなる群より選ばれるプロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子の発現を変化させる薬剤。

【請求項5】

プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子を含有する細胞と請求項4記載の薬剤とを接触させる工程を含む、プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子の発現を変化させる方法。

【請求項6】

プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子のアンチセンス核酸；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子またはその断片もしくは誘導體；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子によりコードされるポリペプチド；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子レセプター；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子結合剤；ペプチド模倣物；融合タンパク質；プロドラッグ；抗体；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子発現を変化させる薬剤；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子によりコードされるポリペプチドの活性を変化させる薬剤；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子によりコードされるポリペプチドの転写後プロセッシングを変化させる薬剤；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子とプロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子結合剤との相互作用を変化させる薬剤；プロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子によりコードされるスプライシングバリエーションの転写を変化させる薬剤；およびリボザイムからなる群より選ばれるプロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子治療剤。

【請求項7】

請求項6記載のプロスタグランジンEレセプターサブタイプEP3遺伝子治療剤を含有し

てなる医薬組成物。

【請求項 8】

プロスタグランジン E レセプターサブタイプ EP3 遺伝子治療剤がプロスタグランジン E レセプターサブタイプ EP3 遺伝子またはその断片もしくは誘導体を含む単離された核酸分子である請求項 7 記載の医薬組成物。

【請求項 9】

プロスタグランジン E レセプターサブタイプ EP3 遺伝子治療剤がプロスタグランジン E レセプターサブタイプ EP3 遺伝子によりコードされるポリペプチドである請求項 7 記載の医薬組成物。

【請求項 10】

末梢動脈閉塞疾患の医薬の製造のためのプロスタグランジン E レセプターサブタイプ EP3 遺伝子治療剤の使用。

【請求項 11】

プロスタグランジン E レセプターサブタイプ EP3 遺伝子治療剤が、プロスタグランジン E レセプターサブタイプ EP3 遺伝子アンタゴニストである請求項 10 記載の使用。